

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわく			
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	連絡帳のシステムを変更し、写真添付もできたので利用児童の様子や状況も分かりやすくなったと思います。また、保護者の方とコミュニケーションを多くとることを心掛けています。	・より良い支援ができるよう、職員研修の機会を多く設けていきます。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	・支援計画書の目標に沿って、達成状況を確認しながらプログラム内容を精査しています。 ・打ち合わせ等でスタッフ全体で話し合いながら、プログラム内容を決めています。	・引き続き子供たちの興味関心を把握し、今後も計画内容や意図に沿ったプログラムを作成するとともに、子供たちが楽しく参加できるよう支援の実施をしていきます。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	・静の活動エリア、動の活動エリア、その他学習するエリアを分かりやすい活動場所の環境設定をしています。	・引き続き子どもたちの活動に合わせた空間づくりのために、構造化を行い安全かつ、プログラムに集中しやすい環境づくりを行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援。	保護者会などは実施していません。 きょうだいで利用していて、どちらかがイベントに参加いただいた場合に一緒に参加が可能な場合もございますが、きょうだい向けのイベントは実施しておりません。	・家族支援として面談等の実施に努めます。 ・イベントにてきょうだいで参加が可能な場合は、引き続き参加のお誘いをさせていただきます。
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等。	研修会の情報はチラシ等で情報提供しているが、事業所のプログラムとしてペアレント・トレーニングは実施していない。	・引き続き必要に応じて、個々に面談の機会を設けていきます。 ・情報提供は引き続き行い、今後必要に応じて検討いたします。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明。また、発生を想定した訓練の実施。	各種マニュアルはファイリングし、いつでもお読みいただけるよう面談室に常時設置してあります。	各種マニュアルに目を通していただきやすいよう設置方法・周知方法を工夫し、更なる周知を図ります。